

群馬県中小企業団体事務局長会 冬季研修会



群馬県中小企業団体事務局長会（津久井真次会長）は、12月13日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、冬季研修会を開催した。



講師の高橋美清氏

講師の高橋美清氏は、天台宗僧侶でありながら、モデルとして活動した後、現在もアナウンサーとして活躍している異色の経歴の持ち主。

比叡山での僧侶となるための修行経験を基に、「お山（比叡山）で見つけたたからもの。くまなく生きる為に」をテーマに講演を行った。

▼ 講演要旨 ▲

2ヶ月にわたる修行は精神的・肉体的に大変厳しいもので、終えるころには体重が14 kg減少していた。

た。毎日厳しい指導を受けながら過ごしたが、そのような修行の結果、些細なことを気にしたり、イライラすることがなくなった。大切なことは「心持ち」を変えることだと悟ったのである。このような心境に至ったのも、比叡山という場所での修業したことが大きい。天台宗には、「依心より依所」という教えがある。「どこで学ぶか、どんな環境に身を置くか」は、何かを得るうえで非常に大切である。

そして、本当の愛情というものは厳しさの中にあることも知った。最後の日に、修行中常に厳しかった先生から「こんなに出来の悪いお前たちに今日から会えなくなる」と悲しい」と泣きながら言われた。甘やかすことと本当の優しさというものがこれほどまでに違うのかということに気が付かされた。

最後に、『一隅を照らす』という天台宗の言葉をおくりたい。この言葉は、それぞれの人が、それぞれのおかれていく場所や環境で精いっぱい努力していくことが大切であるという教えである。今日のお話が、皆様の日常生活の中で、何かを考えるきっかけになれば幸いである。